

緩和策と適応策 ～緩和策だけでは間に合わない！！～

緩和策

二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を抑制することにより、地球温暖化を防止しようとする取組みを「緩和策」と言います。省エネや再生可能エネルギーの導入等、長年、取り組んできました。しかしながら、温室効果ガスの排出量抑制が遅れているため、世界各地です



出典●気候変動適応情報プラットフォーム

でに気候変動の影響が発生しており、今後、長期にわたって拡大するおそれがあります（気温の上昇、大雨頻度の増加、農作物の品質低下、動植物の分布域の変化、熱中症リスクの増加など）。このような状況から、世界全体が、温室効果ガス削減の取組みを強化し、2050年に排出ゼロを目指す動きとなっています。（「カーボンゼロ」「ゼロカーボン」「カーボンニュートラル」など）

適応策

すでに温暖化が進行してしまっているという事実を受け止める必要があります。しかも、今後、排出ゼロを目指しても、すぐに温暖化は止まらず、影響はさらに拡大していくと予測されています。したがって、**気候変動の被害を最小にするために、既に現れている影響や、今後避けられない影響を回避・軽減する**必要があります。これを「適応策」とよんでいます。原因の対策ではないため本質とは言えませんが、一人一人の身近な問題であることが多く、現実的な対応として非常に重要です。

信州の冬 温暖化の影響と適応策

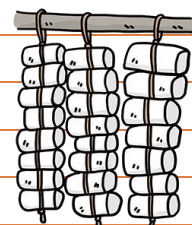
寒い信州です。冬の温暖化は助かりますか？

実は、冬も良いことばかりではありません。影響も多岐にわたります。

以下のようになかなか有効な適応策を見いだせない分野も少なくありません。



分野	内容	
農業	影響	冬の温暖化は果樹等の生育を早めるため、 春の遅霜 の被害を受けやすくなる。
	適応策	品種改良、対策技術開発等。
水資源	影響	冬の積雪の減少は、 春の雪解け水の減少 となり、水資源が少なくなる。
	適応策	水源地域の公的関与の推進（応急給水、森林整備による涵養、水利施設整備等）
自然生態系	影響	ライチョウ の生育域の減少。 ブナ などの生育域の減少。
	適応策	有効策はむずかしい。モニタリング、調査研究の推進。
産業	影響	雪不足による スキー場 の適地の減少、シーズンの減少。
	適応策	通年型リゾートにつながる取組み。事業者への公的融資等。
文化・歴史	影響	諏訪湖の御神渡り の発生の激減。
	適応策	有効策はない。継続的な気象モニタリング。
産業	影響	寒天 、 氷餅 等の冬の寒さを利用した地場産業の適地の減少、期間の減少。
	適応策	標高の高いところに移設、気候変化に合った製品開発等。



【文責】宮澤 信